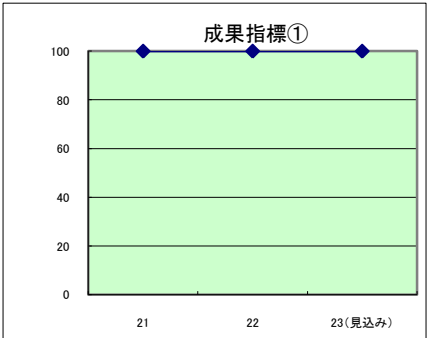
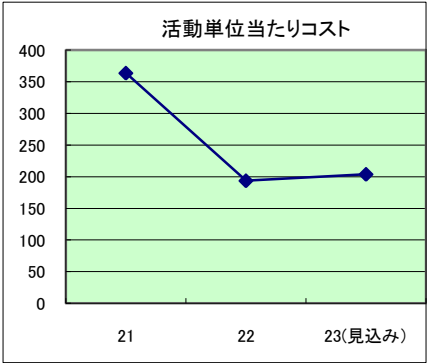


事務事業名			保健衛生啓発事業		予算科目	会計	2	国民健康保険特別会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	款		8	保健事業費		
				項		2	保健事業費		
				目		1	保健衛生普及費		
				事業		4	保健衛生普及		
施策(節)			1	保健・医療		作成部署			
施策の方向			(5)	医療保険制度の充実					
関連する計画等					保健福祉部保険健康室保険年金課				
事業の目的	対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1761			
	被保険者(市民)				健康まっぴりの開催や健康づくりパンフレット等の配布を通じて、市民生活の基礎を支える健康づくりについて啓発活動を行う。 健康づくりパンフレット、エイズ予防グッズの作成、配布。 窓口や市民まつりなどでの健康に関するパンフレットの配布、ふれあい健康まつりにて健康チェック等の実施。				
	意図(どういう状態にしたいのか)								
	健康まっぴりの開催や健康づくりパンフレット等の配布を通じて、市民生活の基礎を支える健康づくりについて啓発活動を行う。								
事業の内容	健康づくりパンフレット、エイズ予防グッズの作成、配布。 窓口や市民まつりなどでの健康に関するパンフレットの配布、ふれあい健康まつりにて健康チェック等の実施。								
	根拠法令等				国民健康保険法				
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 年開始 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度			
事業開始時からの状況変化		健康づくりに関する国民健康保険の関わりは深くなっている。							
市民や議会の要望									
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()							
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称()			委託内容				
		☐ 民間委託 ☐ その他							

区 分		21年度	22年度	23年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		3,490	3,047	3,135
人件費【2】 (千円)		4,500	2,160	2,160
職員数	正規職員	0.60 人	0.30 人	0.30 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		7,990	5,207	5,295
財源内訳	国費 (千円)	2,014	1,878	1,932
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	5,976	3,329	3,363
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
①	パンフレット作成部数 部	21,982	26,906	26,000
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 ÷ 【B】 ①)		363 円	194 円	204 円
市民1人当たりコスト (【A】 ÷ 人口)		67 円	44 円	45 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	パンフレット配布率 (式)	%	作成したパンフレットを被保険者（市民）に確実に配布し、事業趣旨を広める	目標	100	100	達成率(%)	100
					実績	100	100	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	健康づくりは、本市の特色を打ち出す事業であり、被保険者（市民）の健康づくりの重要性は高い。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	意識向上を図るためには、事業の妥当性は高い。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である（経年、他市比較など）	☒	☐	☐	パンフレット作成については、外部発注しコストは適切である。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど）の活用について検討の余地がない	☐	☒	☐	
	有効性	上位の施策（目的）が明確である	☒	☐	☐	健康への意識向上に有効である。
		上位の施策（目的）への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	パンフレットを配布することで、情報提供している。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	趣旨普及に役立てている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	健康づくりパンフレット、エイズ予防グッズの作成、配布は、市民（被保険者）の意識向上に寄与している。	
	今後に向けて（取組方針、具体的な改善改革案など）	
	疾病予防への意識は、年々向上しており、さらなる意識向上を図ることが必要である。	
行革本部評価	総合評価	
	評価理由・意見	